

週 報

こひつじ

第41巻 12号
 大津キリスト教会
 菊池郡大津町室 119
 TEL 096-293-4470
 FAX 096-293-4961
 牧師 米村 英二

偉大な国民

その二 神が語られたとは

人はこのように言葉によって生家の子どもたちは小さかったが、宣教師がそのつどお土産に持つてくるアメリカ製の文房具を楽しみにしていた。けれど、英語のできうに、見、聞き、嗅ぎ、歩き、走らない彼らと日本語のできない宣教師との間の交流は限られていた。

り、食い、飲み、暑さ寒さに耐えることが出来る。しかし、言葉を持たない。やがて成長し、娘はアメリカの大学に留学した。そしてある休暇に宣教師を訪ねた。

では言葉は人に何をしてくれるのか。宣教師は幼い頃の彼女のしぐさは覚えていても、心のうちを知ることはなかった。

言葉は、人の内部世界の発露である。したがって私たちは、語られる言葉を通して、初めて人の心のうちに入るのである。ところが、その女の子が、突然、自由な英語で、その頃の記憶を語り始めたのだ。

大津教会を始めたアメリカ人宣教師は、帰国後も、ときどき私たちが訪ねてくれた。その頃、わが

でも不思議に思われ、かつ愉快であつたと手紙を寄こしてくれた。これが言葉の働きだ。

私たちが詩篇に感動するのも、それによってダビデの心をのぞくことができるからではないか。

サムエル記はダビデの行ないを語るだけだが、詩篇は心を語る。

彼の祈り、嘆き、喜びがどんなものであつたか。人生の危険や困難をどんな心で受け止めたか。また罪を犯したとき、どれほど深くそれを悲しんだかを知らせてくれる。このように言葉が発せられると、私たちは、それによって、その人のたましいの中の宝を見ることが出来るのである。

それならば「神が語られた」とは、何を意味するだろうか。

神の心が開示された。神が、ご自分の心を、われわれに知らせてくださったということである。イスラエルが偉大な国民であるのは、彼らが神の言葉を聞き、それによって彼らに対する神の思いや願いを知ったからである。同様に、私たちクリスチャンも神の言葉を聞いたのである。聖書

は言う。

「神は、むかし先祖たちに、預言者たちを通して、多くの部分に分け、また、いろいろな方法で語られました。この終わりの時には、御子によって、私たちに語られました」(ヘブル一の一、一二)と。

では、御子イエス・キリストは何を私たちに語ってくださったのか。それは、「テオピロよ。私は前の書で、イエスが行ない始め、教え始められたすべてのことについて書き」(使徒一の一)、とルカが言っているように福音書の中に書かれている。

したがってイエスが何を私たちに求め、願っておられるかを知りたければ、まずはマタイ、マルコ、ルカ、ヨハネの福音書を読むべきだろう。

そこにイエスがこの地上で語られた言葉がそのまま記録されているからである。

四つの福音書を全部合わせてもわずかに二百数ページ。その中から、イエスの語られた言葉だけを

抜き出すなら、さらに短い。しかし、そのわずかなイエスの言葉が、人類をうるおし、変革してきたのである。(続)

今日の礼拝

○合同礼拝は午前一〇時から。

○教会学校は午前一〇時から。

○説教及び証は、奈良福音教会牧師緒方賢一、智子夫妻。

緒方賢一牧師の紹介

一九七一年大阪に生まれる。一九歳の時、プロミュージシャンを目指し中、交際中だった女性(のちの妻智子さん)とともに宣教師と出会い、英会話を習いに教会へ。

その後、先に信仰を持った彼女に抵抗したものの、逆に主にふれられ、奇跡的に回心する。数年後、彼女と共に献身し、結婚。一九九八年から牧師として主に仕える。二〇〇七年より、奈良に導かれ、現在、JEC奈良福音教会牧師。娘・息子(すでに結婚)の四大家族。

証

緒方智子

人生は旅です。そしてクリスチャンもまた、この地上では旅人であり、寄留者であると言われていきます。

「寄留」とは、一時的に他の土地、または他人の家に住むことです。本来、そこにいるべきではない人、それが寄留者であり、旅人です。

在日三世として生まれた私は、常に自分の国はどこなのか、日本は自分がほんらいいるべき場所ではないのではないかと悩んでいました。また、人生の意義も目的もわからず、ただ流されるままに生きていました。

でも一八歳のとき、イエス様と出会い、私の帰るべき場所が神様によって備えられていることを知ったのです。感動しました。そして大きな平安に包まれました。神様は、私の造られた目的、使命、帰るべき場所を知らせるためにイエス様を遣わしてくださったのです。

これほど明瞭に、私の奥底にあった疑問に答えてくれたものがあつたでしょうか。

今では、イエス様とともに歩む人生の旅を心から喜んでいきます。

先週の礼拝

○司会は合志文利さん。

○説教は「私たちが神を愛したのではなく、神が私たちを愛し、私たちの罪のために、なだめの供え物としての御子を遣わされました。ここに愛があるのです」(第一ヨハネ四の一〇)から。

したがって、本来、愛は、私たちのうちにはありません。しかし、神の愛を知り、その愛に圧倒されるとき、その結果、私たちのうちに愛が生まれる。それがキリスト者の愛だと語りました。

○礼拝参加者は、第一礼拝が五三名、第二が三六名、合計八九名(男二七、女六二)。それに子どもが一二名、合わせて一〇一名でした。

○河上恵子さんの長女恵美子さんの家族(アメリカ在住)の来会

がありました。

CSピクニック報告

三月二三日(日)はCSピクニックで、ボウリング大会をしました。参加者は子ども六名、大人二名。合計一八名。詳細は左記の通り。

(子供) 三浦穂乃果、石山心一、西岡曉仁、興梠圭祐

(大人) 三浦桂、西岡潤也、西岡なおみ、興梠博紀、興梠みゆき、石山沙織

(ゲスト) 河上恵美子、ダニエル、はなえ、けんぞう

(スタッフ) 林田はるか、山村みゆき、岩崎まるみ、岩崎宏志

歓声と笑い声に溢れた二時間を過ごし、よい交流のときでした。

召天者記念礼拝案内

四月二〇日(日) 午前一〇時半から召天者記念礼拝を行います。合同礼拝となりますので、第二礼拝にいられていた方は、少し早めにおいでください。